

神埼市立 千代田中学校 第 2 号 文貴(校長 原田 浩臣)

2024/5/10 発行

・千代田中だより

千代田中学校教育目標夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身共に調和のとれた生徒の育成

https://www.education.saga.jp/hp/chiyoda-j/ TEL 0952-44-2222



交通安全教室を行いました

通学をはじめとしたさまざまな場面で自転車の利用機会が増える中、自転車による交通事故も増加の傾向にあります。その中で高額の賠償を伴うケースもあります。気をつけて運転してほしいです。



今年度は、自転車のシュミレーション機器を使っての教室を行いました。県警本部と神埼警察署から署員の方3名に来ていただき、お話を伺いました。各学年の代表者がシュミレーション画像を使って実際に自転車をこぐ動作をしました。目的地まで進んだ振り返り画像を見ながら指導をしていただきました。信号機や車の動きなどがリアルな画像で、危ない場面での回避行動についても学びました。

私の好きな漢字

精進

生徒の活躍紹介

(市報5月号より)

千代田中学校 3年

作者コメント 私が「精進」という漢字を選んだ理由は、将 来の夢である書道の先生になるという目標に向 かって、志望校で努力したいからです。注意し て書いた点は、字と字の繋がりやなめらかさで す。これからも大好きな書道に精進し、いつも 私のそばで応援してくれている家族や尊敬して いる書道の先生に恩返しがしたいです。

授業参観とPTA総会を行いました

今年は、総会終了後に神埼 市教育委員会の松枝課長より 部活動地域移行に関する説明 をしていただきました。課題 のない学校はなく、親と学校 が一緒に課題解決に取り組む ことで、生徒の知徳体のバラ







ンスのとれた成長を支えることができます。ぜひ、今後もP TA活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

ベルをなくしたレストラン

道徳の資料を一つ紹介します。それは「ベルをなくしたレストラン」という題材です。

レストランで、テーブルの上にあるボタンを押すと、「ピンポーン」と音が鳴ります。その音を聞いて、店員がテーブルまで来て、「お客様どうなさいましたか?」と聞く、そんな光景を見たことがあると思います。この「ピンポーン」のシステムは、様々なところで採用されています。ところがこのシステムをなくす決断をしたレストランがあります。その結果このレストランの売り上げはどうなったと思いますか?なんと、売り上げは二倍に上がったそうです。なぜ売り上げがあがったのでしょうか?「ピンポーン」の音がなくなったことによって、店員は今まで以上にお客さんをよく見るようになったからです。「あ、水がなくなっているな」と思ったら、お客さんが呼ぶ前に「お水はいかがでしょうか?」と動くようになり、「あ、こちらをあのお客は見てるな!」と思ったら、お客さんが呼ぶ前に「お客様、何かございますか?」「お呼びでしょうか?」と声をかけるようになったのです。お客さんにしてみれば、何も言わないのに、お水が出てくる、声をかける前に来てくれるわけだから気持ちがいいですよね。結果として、店員の対応にも自然とあたたかさがにじみ出るようになり、「また、あのお店に行こう」と思うお客が増えました。お店に何度も来てくれる人が増えた結果、売り上げが上がったのだそうです。

便利な機械にあえて頼らない状態をつくったからこそ、店員に「気づく力」がついたのです。また、働いている店員側も、「『気づいてくれてありがとう』というお客さんからの言葉が増えた」と、以前よりも仕事にやりがいを感じている人が増えているのだそうです。みなさんも視野を広げて、自分から「気づく」ことができるといいですね。

この題材を読んで、教師としても考えさせられました。よく私たちは生徒に「何かあったら言ってね」

「なんで先生に言ってくれなかったの?」という言葉を使います。でも、このレストランの店員のように、よく生徒を日々観察し、何か訴えたいことを察知し、「何か話したいことがありそうだね?」「ちょっと雑談しようか!」など生徒の様子に気づき、教師から近づいていくことができれば理想だと思います。私たち教師は、日々の業務の忙しさの中でも、それを言い訳にしないで、目配りを怠らず、生徒一人一人の様子を見ていきたいものです。